

保護者の皆様へ



No.120 (’22-4)

2023.3.17.

訓育部だより

愛徳学園中高等学校

訓育部長 齋藤典正

爽やかな陽ざしに春の訪れを感じられる頃となりました。保護者の皆様いかがお過ごしでしょうか。この一年間、学園の教育活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

訓育部では生徒のみなさんが学園生活をより安全に安心して送れるようにサポートしています。更に、クラスや部活動、学校行事においても生徒一人ひとりが、明るく元気に活動できることを目標に取り組んできました。

今年度も新型コロナウイルス感染症(コロナ2019)の第7波、第8波の中ではありましたが、感染対策を講じながら様々な行事を行ってきました。なかなかコロナ前には戻せない現状にもどかしさを感じながら、学園祭では午前中生徒対象、午後に保護者対象としたことによって、全校生徒で文化部やビブリオバトルなどの発表を見ることができました。

3学期には、3年ぶりに第112期全校委員立候補者の立会演説会を全校生徒で、講堂にて行うことができました。候補者のみなさんは緊張のあまり声や手が震える中での演説でしたが、元気に自らの所信を表明することができました。その演説の中で特に印象に残ったのが、「明るい学園にするために、挨拶に力を入れていきたい」というメッセージが多くあったことです。生徒たちからの声を大切に、職員と全校委員が一丸となって、今後の活動に取り組んでいきたいと思えます。

また、学園は小中高で1つという認識を高めあうために、小学校の代表委員と中高の全校委員が意見交換の場を持ち、1学期は「清掃ボランティア」を校内で行い、3学期は「ふれ愛ジャンプ」と称して縄跳び大会を行いました。「清掃ボランティア」や「ふれ愛ジャンプ」では高校2年生が小学校1年生と交流を深める場面なども散見され、他校では見られない、愛徳学園だからこそできる行事の素晴らしさを実感できました。更に、高校2年生が登下校の通学マナーアップのために、小学校に出向き、小学生たちにわかりやすく、工夫を凝らして、安全面やマナー面について伝えることができました。

私も毎朝、交通安全や挨拶活動のためにバス停付近に立ち、本校の児童・生徒や東舞子小学校の児童、ご近所の方々と挨拶を交わしています。児童・生徒から元気な挨拶を返されたり、地域の方から「ありがとうございます」と言われたりすると、立っていて良かったなと感じています。

来年度も、校内だけに限らず、校外においても、安全と安心を第一に活動して参りたいと考えていますので、引き続き本校の教育活動にご協力をお願い致します。

《中学部より》

中学部では、「安心できる集団作り」を目指して取り組んで参りました。今年度は新型コロナウイルスをめぐる状況が少し落ち着き、3年ぶりとなる歓迎遠足をはじめ、合唱コンクール、体育大会なども実施することができました。行事を通して上級生が下級生のお手本となり、中学部をリードする経験や、学年で意見をぶつけ合いながら絆を深めることができました。また、今年度中3は英語研修、中2はトライやる・ウィーク、中1はものづくり体験を通して将来に目を向ける機会も持てたことも大きな成長に繋がったと感じています。特に初めて実施したトライやる・ウィークでは、5日間という長い期間学校から離れた場で、実際に社会人の方から仕事を教えて頂き、働くことの大変さとやりがいを味わえたことは大きな喜びです。ご家庭をはじめ、地域の方々のご協力に感謝申し上げます。まだまだコロナ前の通りとはいきませんが、制限がある中でも沢山の本物の体験を通して学び、伸びていこうとする生徒たちを、来年度もしっかり支えていきたいと思えます。そして、心も体も大きく変化する中学生にとって、学校がより良い成長の場となるように努力してまいります。

保護者の皆さまには1年間ご協力いただき本当にありがとうございました。来年度もどうぞよろしくお願いたします。

《高校部より》

今年度も新型コロナウイルス感染症の終息がなかなか見通せないまま始まった1年でした。しかし、生徒達はそんな不自由な生活にも柔軟に適応し、マスクの着用や毎日の検温、手洗いなどあたり前のように日々を過ごしていました。保護者のみなさまには今年度も毎日、お嬢様方の検温のご協力本当にありがとうございました。

高校部では、2月14日(火)今年度も在校生の参列はかないませんでした。59回生28名の卒業証書授与式を無事執り行うことができました。59回生は、コロナ禍の中で入学式を行うことができない学年でしたが、卒業式は保護者の皆様と教職員の見守りの中、温かな雰囲気の中でみんなで卒業式をお祝いできたことは本当に良かったと思えます。

今年度は、少しずつですがコロナ禍前の学校行事を復活させることができました。3年ぶりに実施できた「合唱コンクール」で生徒たちは、はじめは久しぶりの合唱に声が出ない。と言っていましたが、日々の練習で少しずつ声も出るようになり、学年が力を合わせて1つの行事に取り組むことでみんなで奏でるハーモニーのすばらしさを感じていたように思います。また、「学園祭」では、中高生が共に舞台発表を観ることができたことは嬉しいことでした。このように、感染予防をしっかりしながら少しずつ以前の行事が戻ってくることは生徒たちにとって学園生活の良き思い出の1つになってくれるのではないかと思います。

いよいよ5月8日からは、「新型コロナが5類に引き下げられる」というニュースが伝えられています。コロナ後の「新しい生活」が始まります。まだ完全には終息には至っていないため、引き続き感染予防は続けなければなりません。今後、学校生活もコロナ禍以前の生活に戻っていくと思われ。今までできなかった行事を通してますます仲間との理解を深め、生徒一人ひとりが明るい学園生活を過ごすことができるように願っています。

4月からまた新たな学年へと進級いたします。よいスタートがきれるようご家庭でもお励まし、お見守りください。

《震災メモリアル》

今年も全校委員が主体となり「震災メモリアル」を実施しました。第1部の「追悼の部」では、阪神淡路大震災、東日本大震災を当時の新聞記事やニュース映像で振り返りました。地震大国である日本で古くから「津波てんでんこ」という言葉があります。この言葉のおかげで、東日本大震災では多くの命が救われたという話を聞き、大きな災害に見舞われたとき、家族や友達を信じ、まずは自分の命を最優先に避難することの大切さを改めて知ることができました。1部の最後には、2つの大震災で奪われた多くの命と犠牲者の家族の悲しみを悼み、みんなで黙とうを捧げました。

第2部では、関西大学安全社会学部の小沢守先生からレクチャーを受けた全校委員が、「若者が考える防災の意義」をテーマに、全校生に私たちの身近に潜む危険（ハザード）について考えるアクティビティを行いました。学年やクラスによって、危険のとらえ方も様々で、参加した生徒からは、「他の人の意見を聞くことで、自分では気づけなかった危険性に気づくことができました。」や「思いがけないものがもたらす危険にも気づくことができ、自分で意識できることはもっと注意していきたいと思った。」などの意見を聞くことができました。この行事を通して、これから生きる生徒たちが過去の悲しみや恐怖を知ること、自分たちが生きる未来のために何かを考える、また行動するきっかけにできればと思います。

全校委員の感想

今回は、行事を企画する側となり、小沢教授にインタビューをしたり、ハザードマップを作製したりしましたが、その中で、大切だと思ったことがいくつかあります。

まず、災害が起こったときには、自分の判断を大切にすべきだということです。避難訓練は毎年参加していますが、本当に何かがあったときに、自分で判断し行動したほうが助かる可能性が高いというお話を伺いました。国民性もあり、日本人は指示があるまで動けない人も多いそうです。ですから、身に危険が迫っているときには、自分で判断し、行動に移せるようにしたいです。

次に、ハザードは人によって異なるということです。ハザードマップには何も示されていない場所であっても、高齢者の方々や小さい子どもにとっては、様々な危険があるということもあります。可能であれば、避難場所への経路などは、自分の目で見て確かめ、災害に備えることが大切だと思います。

《全校委員美化》

3学期に、通学路清掃を行いました。清掃ボランティアを募ったところ、約50名が参加してくれました。5班に分かれて、道端のゴミ拾いや草抜きを行いました。考査の最終日で、みんな積極的に働き、また、地域の人へのあいさつも気持ちよくできていました。来年度もこのような機会がもてるとよいと思います。

《全校委員奉仕》

今年度も親の日・お米の日等にご協力くださり、ありがとうございました。3学期の親の日の合計は46226円、お米の日の合計は46.7kgとなりました。親の日に集まったお金は各国の里子のもとへ、お米は垂水教会を通して社会活動奉仕センターでの炊き出しに寄付させていただきました。

また、2月にはトルコ、シリアの大地震をうけて、緊急募金を行いました。同時に奉仕委員だよりを発行し、緊急募金のお知らせと、全校委員からのメッセージ動画を発信しました。緊急募金では、42743円とたくさんのご協力をいただきました。募金は日本赤十字社を通してトルコ、シリアの被災者へ物資として届けられます。ペットボトルキャップは、2・3学期の間で約33.9kg集まりました。これはワクチン約26人分相当となり、JVC(世界の子どもにワクチンを 日本委員会)を通して発展途上国へ送られます。

皆さまのご協力もあって、今年度の奉仕委員の活動を活発に行うことができました。来年も引き続き、ご協力をお願いいたします。

《保護者の皆様へお願い》

- ◇ インターネットの利用に関しては、ご家庭でも使用時間・場所などのルールを決めて頂き、ネット依存やゲーム依存の防止にご協力をお願い致します。また、学校名や個人名などの個人情報、本人や友人の動画や画像を載せたりすることのないようくれぐれもご注意ください。何か困ったことがあれば、学校や下記の兵庫県警本部サイバー犯罪対策課・少年相談室へご相談下さい。

※サイバー犯罪の相談
⇒県警本部サイバー犯罪対策課 (078-341-7441)
※犯罪などの被害にあったとき
⇒県警本部少年相談室 (0120-786-109)

- ◇ 始業式までは現担任が指導に当たりますので、何かありましたらお知らせください。愛徳学園電話番号078-708-5353

◆新年度始業式は4/10(月)9時登校です。制帽を被り、身だしなみを整え、心身ともに新しい気持ちでスタートしましょう。

